

第698回

I B C番組審議会 議事録

－議 題－

I B Cテレビ

「忘れない3. 11－M i s s i o n 伝える使命－」

2025年3月27日（木）

㈱ I B C 岩手放送

第698回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年3月27日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名
出席委員 7名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
委員	後藤 高宏
	柴田 千春
	龍澤 尚孝
	菊地 文彦
	四戸 聡
	高橋 司(リポート)

欠席委員の氏名 澤口 たまみ
熊谷 志衣子
繁田 奈菜子

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
大志田 融	メディアセンター次長兼報道制作部長
木下 義則	釜石駐在記者

事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議 題

IBC テレビ 3月11日(火) 午前10時25分～午前11時20分放送
「忘れない3.11-Mission 伝える使命」

5. 議事の概要

＜委員の主な発言＞

- 今どうして語り部をしているのか、動機や生きざま、人生を深く紹介。震災当時の映像を組み合わせ、繰り返し継続して伝えていく使命を考える素晴らしい番組だった。
- 県内だけではなく県外に出て防災意識を高めようとしているその姿を見て、自分が目を背けていたのではないかと反省し大変勇気づけられた。語り部たちの思いやインタビューでの言葉も非常に心に響いた。
- こういったものを残していくためには国からの支援とか、何らかの公的支援がなければいけないのかなと感じた。伝承継続の支援の仕方について深掘りをしても良いのではないかな。
- 震災を経験した当時の子どもの多くが地域に残っていない状況で、今回のように地域の若者の活動にフォーカスを当てるとするのは大変なことだったと思う。
- フェイストゥフェイス、対面でなければ伝わらない部分がたくさんある。映像だけでは伝えきれない部分、空気感であったりその土地の場所の部分であったり、あるいは語る方の思いというのは、やっぱり身振り、表情、態度と雰囲気とか全体に表れてくるので、そういうものとして伝えることの大切さというのは番組の中からも十分伝わってきた。
- 若者に焦点を当てた番組と思って見たが、やや構成があいまいな感じがした。
- 風化してきた部分もあるが、地域の防災や教育など経験が活かされて進化している部分もある。そのあたりもセットで取材するなど多様な報道を考えて欲しい。どういう形で復興させていけるかという事は大切なテーマなので、引き続き地域密着の番組作りを期待する。